

元気一番！商店街

2013.12
第26号

1 はじめに

寒さが厳しい季節となってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

「元気一番！商店街」では、冬の寒さにも負けず、魅力ある商店街づくりに向けて「元気な取組み」を行う商店街の情報を、どんどんお伝えしていきたいと思っておりますので、引き続きご愛読をよろしくお祈りいたします。

2 飛田本通商店街振興組合（西成区）

さて、本号では、地下鉄動物園前駅から南側に位置する「飛田本通商店街振興組合（西成区）」（愛称：動物園前一番街）に伺い、商店街の取組みに加え、理事長がお勧めするお店「動物園前もつ鍋屋」取材してきました。

商店街の位置



(1) 商店街活性化への取組み

飛田本通商店街振興組合では、平成 24 年度国補正予算「地域商店街活性化事業」を活用して、今年の7月から「サイエンスカフェ」を実施しています。

「サイエンスカフェ」とは、空き店舗等を活用し、地域住民と大学の研究者がお茶を飲みながら話をする感覚で科学等をテーマに交流する場や、地域の子供と理科教諭が実験を通して科学の面白さを学べる場を設置し、地域に「科学を学べる」商店街をアピールするというものです。

飛田本通商店街振興組合



これまでのサイエンスカフェの様子



また、当該地域には、安価な宿泊ホテルがたくさんあり、外国人観光客も多く訪れることから、「サイエンスカフェ」のほかにも、外国人観光客向け（英語併用）の冊子を発行するなど、商店街の活性化に向け、積極的に新たな顧客の獲得にも注力しています。

次回の「サイエンスカフェ」は2013年12月21日（土）開催予定で、「薬の使い方、薬局の使い方」をテーマに実施されるようです。

(2) 飛田本通商店街振興組合理事長へのインタビュー

理事長の村井さん



飛田本通商店街振興組合の理事長の村井さんに、商店街の取組み等について伺いました。理事長の村井さんによれば、「飛田本通商店街は、昔からの下町の良さが今でも残る商店街で、大正の頃の建物が今も店舗として活躍しています。基本的に、地元住民の方々が日々利用される地域密着型の商店街ですが、最近では近隣に宿泊する外国人観光客や、新世界を訪れる日本人観光客など、多くの来街者が訪れるようになってきており、今後は、観光客等の新たな顧客の来街促進に力を入れるとともに、地域の顧客に対しても、サービスを充実させつつ、地域のイメージを変えていきたいと考えています。」

商店街を含めた街全体を明るくきれいにしていきたいという強い信念のもと、長年にわたり活動を続けていらっしゃるそうです。「いつかは、阿倍野や新世界と肩を並べられる、多くの人たちでにぎわう街にしたい。」というお言葉がとても印象的でした。

(3) 「動物園前もつ鍋屋」

商店街の中ほどに「動物園前もつ鍋屋」があります。同店は、今年の7月にオープンしたばかりの新しいお店ですが、もともとは昭和32年に同地で紳士服店として開業されました。店主の宮里さんによれば、「私自身が美味しいものが好きで、多くの人が楽しく憩える場を提供したい。」という思いから、現在のお店に生まれ変わったとのこと。今は、ご家族4人でお店を切り盛りされています。

「10年以上の料理修行の経験を生かし、低価格で一番味に個性が出せる料理として、もつ鍋を選びました。中でも、しょう油ベースの出汁には自信を持って提供しています。」

お店の雰囲気作りにもこだわりをお持ちで、「誰でも気軽に入れる店構えと、木のぬくもりを感じられる落ち着いた店内に仕上げました。また、お一人のお客様にも楽しんで頂けるよう、カウンターには一席に一台、コンロを設置しています。」と、心配りあふれるお店になっています。

また、ゆったりとした座席配置と、低価格のメニュー（平均単価 1,500 円）で、“何度も足を運びたくなる、美味しくて安い店”として地元からも愛され、既にお客様の半分程度がリピーターになっているそうです。

店舗の様子



店主の宮里さん(左)とお義兄さん(右)



「最近では、常連さんが新しいお客様を連れてきてくれるようになりました。」

こだわりのもつ鍋と居心地の良さが自慢の「動物園前もつ鍋屋」さん、皆様も同商店街を訪れた際には、是非一度覗いてみてください。

店舗内の様子

